

神社・神道

をめぐる女性たちの諸相
祭祀儀礼と教化活動を中心に

【講演概要】

前近代の宮中をはじめ諸社における「巫」等と称された女性たちの考察を通じて、神社における神まつる女性のありかたを概観する。そのうえで、明治初年の女性神職の廃止についてとりあげ、史料からその経緯を考察し、近代における神職の創出と神社や神道における女性について考えたい。また左院による女性神職廃止の決定は、国民教化に関わる教導職と神職の兼任という問題を契機になされている。このことから、尼僧たちもかわった女性教導職の養成機関、「女教院」の実態やその展開、明治後年におこった男性神職による女性神職任用論についても国民教化という一連の流れのなかに位置付けて考察したい。

講師 小平美香氏

非常勤講師（学習院女子大学、学習院大学、玉川大学他）
天祖神社禰宜

日時 2016年
10月17日（月）

18:30 ~ 20:00

場所 池袋キャンパス本館
1202教室

入場無料
申込不要

【講師略歴】

1966年東京都生まれ。学習院大学文学部哲学科卒業。学習院大学人文科学研究科哲学専攻博士後期課程修了、博士（哲学）。現在、学習院女子大学、学習院大学、玉川大学他非常勤講師。天祖神社禰宜。平成21年度神道宗教学会賞、第4回（2010）日本思想史学会奨励賞、受賞。著書に『女性神職の近代―神祇儀礼・行政における祭祀者の研究』ペリかん社、2009／『昭憲皇太后からたどる近代』ペリかん社、2014。